

# 成人先天性ローテーションコース（心臓血管内科）カリキュラム

## 概要

医療技術の進歩で約 9 割の先天性心疾患を抱える小児が成人期を迎え、日本を含む先進諸国では、先天性心疾患の患者数は成人が小児を凌駕するようになった。したがって、成人先天性心疾患患者の管理は、循環器内科領域においても重要かつ必須な医療分野となりつつある。本コースはこのような医療の現状を踏まえ、成人の後天性心疾患を専門とする循環器内科医が、病変が多岐にわたる成人先天性心疾患患者の病態と診療に慣れ親しむとともに、基本的な診療能力を習得するための導入的なコースとして設定された。

- 対象：心臓血管内科ラウンドコース3年目以上もしくは心臓血管内科各診療科にて専門修練医として研修を行っている循環器内科医
- 期間：専門修練医としての研修期間中の3ヶ月間
- 採用人数：同時期に1名（複数名同時に本コースを受講することは不可）

## 到達目標

主要な成人先天性心疾患患者の基本的な診断法と管理法を含めた診療の概要を把握し、これら患者に対する基本的診療能力を習得することを目標とする。

その目標達成のための以下を主要な研修項目とする。

1. 画像診断の習得：超音波（経胸壁、経食道）、CT、心血管造影等の画像から、主要疾患を判断する能力を習得する。
2. 血行動態の把握：超音波、ドップラーおよび心臓カテーテル検査結果から心行動態を評価する能力を習得する。
3. 心臓カテーテル検査の習得：成人先天性心疾患特有の検査法を観察（実践）し、その特徴を経験する。
4. 外来診療の習得：成人先天性心疾患患者の外来管理法を観察して習得する。
5. 診療の実践：最終段階として、代表的な成人先天性心疾患（ファロー四徴症等）の担当医となり、その診断、病態評価と治療方針の決定を実践する。

## 研修内容

### 1) 指導体制

指導責任者：大内秀雄（小児循環器科医長）

指導医：小児循環器科スタッフ医師

### 2) 病棟ローテーションと検査

主に6階東病棟および5階東病棟の成人患者を小児循環器科の担当医とともに診療する。またこの間、小児循環器科のカンファレンスおよび各種検査に参加する。

### 3) 当直業務

研修中は一般内科の当直業務を行う。

**<回診・カンファレンス等の週間スケジュール>**

	月	火	水	木	金
午前					5東・6東入院患者の カンファレンス
午後	心臓カテーテル検査 治療前検討会 症例検討会	心臓カテーテル検査 治療前検討会 症例検討会 5東・6東入院患者の カンファレンス	心臓カテーテル検査 治療前検討会 症例検討会	5東回診 6東回診 1週間の心臓カテー テル検査・治療症例につ いてのシネカンファレン ス	心臓カテーテル検査 治療前検討会 症例検討会

**<研修チェックリストの確認と調整>**

1. 指導責任者が研修状況を確認する。
2. 修了時には、指導責任者が研修委員会において修了を判定する。